

# Bluetooth® について

## ■ 使用周波数帯

別売の Bluetooth ユニット (CY-BT200D) と本機を接続すると、Bluetooth ユニットは 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

Bluetooth ユニットの使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

- Bluetooth ユニットを使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、Bluetooth ユニットから「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店または「サービス相談窓口」へご相談ください。
- その他、Bluetooth ユニットから「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店または「サービス相談窓口」へご相談ください。

## ■ 周波数表示の見方 (定格銘板に記載)



## ■ 使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- すべての Bluetooth® 対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する Bluetooth® 対応機器は、Bluetooth SIG, Inc. の定める標準規格に適合し、認証を受けている必要があります。ただし、標準規格に適合していても、Bluetooth® 対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時にご注意ください。
- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- Bluetooth ユニットは車載用です。車載用以外には使用しないでください。
- Bluetooth ユニット (CY-BT200D) を本機に接続すると、iPod は接続できません。

## ■ 使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内で使用してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境、建物の構造によって使用可能距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんのでご了承ください。

## ■ 他機器からの影響

- 他の Bluetooth® 対応機器や 2.4 GHz 帯を使用する機器と Bluetooth ユニットとの距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。

## ■ 用途制限

- 本機で Bluetooth® 対応機器の音楽を聞いたりハンズフリー通話をするには、携帯電話が下記の Bluetooth® バージョンに対応している必要があります。
  - ・ Bluetooth® 標準規格 Ver.1.2
- 本機で Bluetooth® 対応機器の音楽を聞くには、Bluetooth® 対応機器が下記の Bluetooth® プロファイルに対応している必要があります。
  - ・ Advanced Audio Distribution Profile (A2DP)
  - ・ Audio/Video Remote Control Profile (AVRCP)
- 本機で携帯電話の通話をするには、携帯電話が Hands-Free Profile (ハンズフリープロファイル) に対応している必要があります。
- 携帯電話の電話帳を本機に転送するには、携帯電話が Object Push Profile (オブジェクト プッシュプロファイル) に対応している必要があります。
- Bluetooth® 対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- Bluetooth ユニットと Bluetooth® 対応機器が近くにあっても電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。

## お知らせ

- マルチナンバーのサービスをお使いの場合は、基本契約番号または付加番号からいずれか一つを選んで登録することができます。Bluetooth® 対応機器 (ハンズフリー) の登録を行うごとに、電話番号が切り換わります。(※27 ページ)
- Bluetooth ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG 所有であり、ライセンス取得者「松下電器産業株式会社」のマーク使用は、許可を得ています。その他のトレードマーク及びトレードネームは各所有者のものです。
- 「i-mode/アイモード」「i モーション」「マルチナンバー」「mova」「FOMA」は、株式会社 NTT ドコモの商標または登録商標です。
- 「着うたフル」は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

## ■ 本機から出力される音声について

本機と FOMA P904i をワイヤレス通信状態にしているときに、本機から出力される音声は、以下のとおりです。

	接続しているサービス*1	
	HFP	A2DP
音声電話発信音	○	×
音声電話・テレビ電話着信音	○	×
音声電話・テレビ電話時の呼び出し音	○	×
音声電話・テレビ電話時の相手の音声	○	×
音声電話時の相手の伝言メモの音声	○	×
プッシュトーク発信音	×	×
プッシュトーク着信音	×	×
プッシュトーク時の相手の音声	×	×
メール・メッセージ(R/F) 通知優先	×	×
着信音 操作優先	×*2	×*2
サイトからの i モーション再生音	×	×
i アプリ効果音	×	×
i モーション再生音	×	○
着うたフル® 再生音	×	○
SD オーディオ再生音	×	○
アラーム 通知優先	○*3	×
通知音 操作優先	×*4	×*4
電池切れアラーム	×	×

- ：本機から出力されます。
- ×：本機からは出力されず、携帯電話から鳴ります。
- ※1 HFP：ハンズフリーサービス (Hands-Free Profile)  
A2DP：オーディオサービス (Advanced Audio Distribution Profile)
- ※2 音声電話中または待受画面以外を表示中は、着信音は鳴りません。
- ※3 通話中のみ本機から鳴ります。本機から鳴る音は、携帯電話でアラーム音に設定した音ではなく、「ピピピピッ」という通知音です。
- ※4 待受画面以外を表示中は、アラーム通知音は鳴りません。